

大切なものを守るために

沖縄県内中学生 Y. M.さん

「沖縄といえば？」と聞かれて、海と答える人は少なくないだろう。そのくらい沖縄は、綺麗な海があるというイメージがあるのだろう。確かにビーチに行くと、一見綺麗な砂浜と透き通った海があると思うが、果たして本当にそうだろうか。砂浜にも、海にも、たくさんのゴミが落ちているこの状況で、綺麗ということができるのだろうか。

僕は、先日父と近くのビーチのゴミ拾いをした。そこには、コンビニのビニール袋や、ペットボトル、はたまた中国語で書かれたパッケージなどが散在していた。拾い集めると、わずか30分ほどで大きなゴミ袋2袋がいっぱいになった。ビーチの方が仰るには、昨日も僕たちのようにビーチの掃除をしてくれた方々がいらっしまったそう。それなのに、こんな量のゴミがあったという事か。僕は、1日に増えるゴミの量に唖然とした。人間の勝手さは恐ろしいと感じた。

しかし、なぜ中国語のゴミがあったのか。観光者が捨てていったのだろうか。疑問に思い、父に尋ねると「その国から流れてきたんだ」と答えてくれた。という事は、他国でもこのようにビーチにゴミが落ちているのか。そう考えると、僕は恐ろしく思えた。世界的に海岸、海のゴミが問題になっていることを知り、僕はそのことについてインターネットで調べてみることにした。すると、そのゴミによって海に住んでいる生物たちが死んでしまっていることがわかった。人間の身勝手な行為により、たくさんの生物の命を奪ってしまっている。それは、本当に酷い現実だと感じた。

そこで僕は、僕たちが参加したビーチクリーンのプロジェクトの代表者の金城ゆきのさんについて調べた。金城さんは元々「サンゴに優しい日焼け止め」を作るプロジェクトの代表者だったが、その仕事の出張で西表島に行った時、砂浜に落ちているゴミを発見した。拾いたいと思ったが、拾った後どうすれば良いかわからなかったし、周りに知り合いがいなかったことがあり、拾えないまま後にしたということがあった。その経験からいつでもビーチクリーンができるようにしたいと思い、いつでも500円でできるビーチクリーンプロジェクト「マナティ」を立ち上げたそう。

僕は、金城ゆきのさんにお話を伺う機会を設けてもらった。僕は3つの質問をした。

1つめの質問は、サンゴに優しい日焼け止めもマナティも沖縄の海を守るための活動だが、子供の頃から沖縄の海への関心はあったのか、だ。金城さんの回答は「別に普通だった。」であった。僕は驚いて、ではなぜこのような仕事を？と聞いた。すると金城さんは、「海も空気と同じように大切なのは当たり前で、大切なものを守るのも当たり前だと思うから。」と仰った。海を大切に思うのは僕も同じだが、それを行動に移せるのはすごい力だと思った。

2つめの質問は、海にゴミを捨てて行ってしまう人に対してどう感じるか、だ。金城さんの答えは、「愛情不足という人もいるのではないか。」であった。愛されてきていないから平気で大切なものを傷つけてしまうのではないかと金城さんは考えているそう。確かに愛されていない人は他のものも愛せないということは聞いたことがあった。

3つめの質問は、マナティをこれからどのようなプロジェクトにしていきたいか、だ。金城さんは「拾っても、処分するときに嫌な顔をされればこれからもゴミ拾いをしようという思いが薄れてしま

う。だから、処分するときまで楽しくできるプロジェクトにしていきたい。」と、答えてくれた。良い行いをして嫌な顔をされたら良いことをした気分がしなくなってしまう。最後まで楽しく行うことは、とても大切なことだと感じた。このインタビューによって当たり前にあるものを大切にできる人を増やしたいという気持ちが伝わってきた。

僕は、沖縄にこのようなプロジェクトを考えられる人、そしてそれを実践できる人がいて、とても誇りに思う。

人間はもう一度ゴミの処理について考えるべきだと思う。このままだと、沖縄の誇る綺麗な海がなくなってしまうし世界的に考えると魚介類が取れなくなってしまうたり、海が汚染されてしまったりすると思う。そうなると、世界中の人々が困ってしまうし、自然環境が悪化してしまう。自分たちができることを考え、それを実践することが大切だと思う。

具体的に、何をすれば良いか考えていると、一ついい言葉を思い出した。皆さんも遠足に行った時などに聞いたことがあるのではないかな。

「来た時より綺麗にして帰りましょう」

これは、その場所に行って出たゴミを持ち帰るのはもちろん、ほかに落ちているゴミも拾って帰るべきだという言葉である。この言葉通り行動すれば、その場所はどんどん綺麗になるということだ。なんて良い言葉だろう。しかも、自分たちのゴミだけでなく、自分たちの前に利用した人たちのゴミも拾うべきだと言っている。このように、他の人たちとも協力しながらゴミを減らして行くのは、とてもいいことだと思う。

皆さんも、ポイ捨てなどをしてしまったことがあるのではないかな。この文章を読んでポイ捨てはダメだということを改めて理解して、そのことを後悔できるようになってほしいと思う。

この文章では、海のゴミについて取り上げたが、金城ゆきのさんが仰ったように大切なものは世界にたくさんあり、人は知らず知らずのうちにそれを傷つけてしまっているのだと思う。それを様々な人々が協力しあって、守れるような世の中を、僕たち若い世代で作り上げていきたい。